

春光台公園の位置付け：自然と人間の共生の森

整備基本方針

- 旭川の市街地の緑の背景を形作る丘陵地として緑の保全を図る
- 生態系の保全と活用のバランスを考慮しながら共生の可能性を探る
- 旭川の中で貴重な植物群落や多くの野鳥など、身近な自然と触れ合いながら環境について学べる場所を充実させる
- 総合公園として、四季を通じて日常レクリエーションや良好な眺望を楽しめる場所を作る
- 地域のオープンスペースネットワークの核になるように、周辺にある公共施設や公共空間と将来的な関連性を確保する

◆ 連続的な樹林地の保全

住宅地のそばの樹林や市街地の緑の背景を形作る斜面の樹林など、公園内の樹林地を保全します。また、散策や自然観察などを通じて樹林を活用するほか、間伐や下枝のせん定を市民と協働で行い、良好な樹林環境を確保します。

◆ 公園利用者と小動物のための道づくり

道道旭川幌加内線による公園敷地の分断は、利用者だけでなく動物の移動にも影響を与えています。人も動物も安全に移動できるように検討を進めます。

◆ 湿地環境の保全と復元

湿地植物の保全のために、園内に生えているオオハンゴウソウなどの帰化植物を刈り取り、水源を保護するなどして、湿地環境の向上を目指します。また、木道などを整備し、気軽に自然の観察や学習ができる空間づくりを行います。

◆ 園路や散策路、案内標識の整備

園路沿いのササ刈りなどを行い、利用しやすい安全な雰囲気を作ります。また、園路を体系的に見直すほか、案内看板は公園情報等を掲載するなど充実させます。

◆ 眺望空間の整備

高台という立地条件を生かして、スキー場跡地の開かれた場所に市街地を一望できる眺望空間を整備して新名所とし、公園の魅力向上を図ります。

◆ パークゴルフ場の整備

既存林と地形を生かして、木立の中でだれもが気軽にパークゴルフができる、パークゴルフ場を整備します。

◆ 入口広場の整備

明るく安全で親しみやすい入口広場の整備を行い、公園とまちをつなぎます。

◆ 環境学習ゾーンの整備

野鳥や植物の観察など、生き物と触れ合いながら自然と環境への関心や理解を深められる場所を設定します。また、学校等の教育機関と連携し、総合的な学習などの活動の場として積極的な活用が図られるように施設の整備を進めます。